Alibaba Cloud ##**均衡**

証明書の管理

Document Version20200227

##均衡 証明書の管理 / 目次

目次

1 証明書の要件	
2 証明書の作成	
2.1 証明書の作成	
2.2 SSL Certificates Service からの証明書の選択	8
2.3 サードパーティ証明書のアップロード	10
3 証明書のアップロード	14
4 CA 証明書の生成	16
5 証明書形式の変換	20
6 証明書の交換	21

1証明書の要件

Server Load Balancer では、PEM 形式の証明書にのみ対応しています。 証明書をアップロードする前に、証明書、証明書チェーン、秘密鍵が、このセクションで説明されている規則に準拠していることを確認してください。

ルート CA 発行の証明書

ルート CA 発行の証明書の場合、Server Load Balancer にアップロードする必要があるのは、 受け取った証明書だけです。 この証明書が設定された Web サイトは、追加の証明書を設定しな くても Web ブラウザーから信頼されます。

証明書の形式は、次の要件を満たす必要があります。

- ・ 証明書の内容は、-----BEGIN CERTIFICATE----- の 間に記載されています。 証明書をアップロードする際、このヘッダーとフッターも含めます。
- ・各行 (最後の行を除く) は **64** 文字にする必要があります。 最後の行は、**64** 文字以下にすることができます。
- ・内容に空白文字を含めることはできません。

ルート CA 発行の証明書のサンプルを以下に示します。

--BEGIN CERTIFICATE-

MIIE+TCCA+GgAwIBAgIQU306HIX4KsioTW1s2A2krTANBgkqhkiG9w0BAQUFADCB tTELMAkGA1UEBhMCVVMxFzAVBgNVBAoTDlZlcmlTaWduLCBJbmMuMR8wHQYDVQQL ExZWZXJpU2lnbiBUcnVzdCB0ZXR3b3JrMTsw0QYDVQQLEzJUZXJtcyBvZiB1c2Ug ExzWzXJpU2lnbiBUcnVzdCB0ZXR3b3JrMTsw0QYDVQQLEzJUZXJtcyBvZiB1c2Ug
YXQgaHR0cHM6Ly93d3cudmVyaXNpZ24uY29tL3JwYSoAYykw0TEvMC0GA1UEAxMm
VmVyaVNpZ24gQ2xhc3MgMyBTZWN1cmUgU2VydmVyIENBIC0gRzIwHhcNMTAxMDA4
MDAwMDAwWhcNMTMxMDA3MjM10TU5WjBqMQswCQYDVQQGEwJVUzETMBEGA1UECBMK
V2FzaGluZ3RvbjEQMA4GA1UEBxQHU2VhdHRsZTEYMBYGA1UEChQPQW1hem9uLmNv
bSBJbmMuMRowGAYDVQQDFBFpYW0uYW1hem9uYXdzLmNvbTCBnzANBgkqhkiG9w0B
AQEFAA0BjQAwgYkCgYEA3Xb0EGea2dB8QGEUwLcEpwvGawEkUdLZmGL1rQJZdeeN
3vaF+ZTm8Qw5Adk2Gr/RwYXtpx04xvQXmNm+9YmksHmCZdruCrW1eN/P9wBfqMMZ
X964CjVov3NrF5AuxU8jgtw0yu//C3hWnOuIVGdg76626gg0oJSaj48R2n0MnVcC
AwEAAa0CAdEwggHNMAkGA1UdEwQCMAAwCwYDVR0PBAQDAgWgMEUGA1UdHwQ+MDww
OaA4oDaGNGh0dHA6Lv9TV1JTZWN1cmUtRzItY3JsLnZlcmlzaWdulmNvbS9TV1JT OqA4oDaGNGh0dHA6Ly9TVlJTZWN1cmUtRzItY3JsLnZlcmlzaWduLmNvbS9TVlJT ZWN1cmVHMi5jcmwwRAYDVR0gBD0wOzA5BgtghkgBhvhFAQcXAzAqMCgGCCsGAQUF BwIBFhxodHRwczovL3d3dy52ZXJpc2lnbi5jb20vcnBhMB0GA1UdJQQWMBQGCCsG AQUFBwMBBggrBgEFBQcDAjAfBgNVHSMEGDAWgBSl7wsRzsBBA6NKZZBIshzgVy19 RzB2BggrBgEFBQcBAQRqMGgwJAYIKwYBBQUHMAGGGGh0dHA6Ly9vY3NwLnZlcmlz aWduLmNvbTBABggrBgEFBQcwAoY0aHR0cDovL1NWUlNlY3VyZS1HMi1haWEudmVy aXNpZ24uY29tL1NWUlNlY3VyZUcyLmNlcjBuBggrBgEFBQcBDARiMGChXqBcMFow WDBWFglpbWFnZS9naWYwITAFMAcGBSsOAwIaBBRLa7kolgYMu9BSOJsprEsHiyEF GDAmFiRodHRw0i8vbG9nby52ZXJpc2lnbi5jb20vdnNsb2dvMS5naWYwDQYJKoZI hvcNAQEFBQADggEBALpFBXeG782QsTtGwEE9zBcVCuKjrsl3dWK1dFiq30P4y/Bi ZBYEywBt8zNuYFUE25Ub/zmvmpe7p0G76tmQ8bRp/4qkJoiSesHJvFgJ1mksr3IQ 3gaE1aN2BSUIHxGLn9N4F09hYwwbeEZaCxfgBiLdEIodNwzcvGJ+2LlDWGJ0GrNI NM856xjqhJCPxYzk9buuCl1B4Kzu0CTbexz/iEgYV+DiuTxcfA4uhwMDSe0nynbn 1qiwRk450mCOnqH4ly4P4lXo02t4A/DI1I8ZNct/Ofl69a2Lf6vc9rF7BELT0e5Y R7CKx7fc5xRaeQdyGj/dJevm9BF/mSdnclS5vas=

-END CERTIFICATE--

中間 CA 発行の証明書

中間 CA 発行の証明書の場合、複数の中間証明書を受け取ります。 サーバー証明書と中間証明書 の両方を結合して SLB にアップロードする必要があります。

証明書チェーンの形式は、以下の要件を満たす必要があります。

- ・ サーバー証明書を先頭部分に記載し、その後ろに空白文字を入れずに中間証明書を記載しま す。
- 内容に空白文字を含めることはできません。
- ・ 内容に空白の行を含めることはできません。 各行 (最後の行を除く) は 64 文字にする必要が あります。 詳細は『*RFC1421*』をご参照ください。
- ・ 証明書の説明に記載されている証明書の要件に準拠しています。 一般的に、中間 CA は証明書 の発行時に証明書の形式に関する説明文書を提供します。証明書チェーンは、その形式の要件 に従う必要があります。

証明書チェーンのサンプルを以下に示します。

```
----BEGIN CERTIFICATE----
----END CERTIFICATE----
----BEGIN CERTIFICATE----
----END CERTIFICATE----
----BEGIN CERTIFICATE----
```

----END CERTIFICATE----

RSA 秘密鍵

サーバー証明書をアップロードする際、証明書の秘密鍵もアップロードする必要があります。 RSA 秘密鍵の形式は、以下の要件を満たす必要があります。

- ・ 鍵は、----BEGIN RSA PRIVATE KEY----- の 間に記載されています。 鍵をアップロードする際、このヘッダーとフッターも含めます。
- ・内容に空白文字を含めることはできません。 各行 (最後の行を除く) は 64 文字にする必要があります。 最後の行は、64 文字以下にすることができます。 詳細は『RFC1421』をご参照ください。

秘密鍵が暗号化されている場合、たとえばヘッダーとフッターが -----BEGIN PRIVATE KEY -----, ----END PRIVATE KEY-----、または -----BEGIN ENCRYPTED PRIVATE KEY であるか、秘密鍵に Proc-Type: 4, ENCRYPTED が含まれている場合、以下のコマンドを実行して秘密鍵を変換してから、Server Load Balancer にアップロードしてください。

openssl rsa -in old_server_key.pem -out new_server_key.pem

RSA 秘密鍵のサンプルを以下に示します。

BEGIN RSA PRIVATE KEY--MIIEpAIBAAKCAQEAvZiSSSChH67bmT8mFykAxQ1tKCYukwBiWZwkOStFEbTWHy8K tTHSfD1u9TL6qycrHEG7cjYD4DK+kVIHU/Of/pUWj9LLnrE3W34DaVzQdKA00I3A Xw95grgFJMJcLva2khNKA1+tNPSCPJoo9DDrP7wx7c0x7LbMb0dfZ8858KIoluzJ /fD0XXyuWoqaIePZtK9Qnjn957ZEPhjtUpVZuhS3409DDM/tJ3Tl8aaNYWhrPBc0 jNcz0Z6XQGf1rZG/Ve520GX6rb5dUYpdcfXzN5WM6xYg8alL7UHDHHPI4AYsatdG z5TMPnmEf8yZPUYudTlxgMVAovJr09Dq+5Dm3QIDAQABAoIBAG168Z/nnFyRHrFi laF6+Wen8ZvNqkm0hAMQwIJh1Vplfl74//8Qyea/EvUtuJHyB6T/2PZQoNVhxe35 cgQ93Tx424WGpCwUshSfxewfbAYGf3ur8W0xq0uU07BAxaKHNcmNG7dGyolUowRu S+yXLrpVzH1YkuH8TT53udd6TeTWi77r8dkGi9KSAZ0pRa19B7t+CHKIzm6ybs/2 06W/zHZ4YAxwkTYlKGHjoieYs111ahlAJvICVgTc3+LzG2pIpM7I+K0nHC5eswvM i5x9h/OT/ujZsyX9POPaAyE2bqy0t080tGexM076Ssv0KVhKFvWjLUnhf6WcqFCD xqhhxkECgYEA+PftNb6eyXl+/Y/U8NM2fg3+rSCms0j9Bg+9+yZzF5GhqgHu0edU ZXIHrJ9u6BlXE1arpijVs/WHmFhYSTm6DbdD7SltLy0BY4cPTRhziFTKt8AkIXMK 605u0UiWsq0Z8hn1Xl4lox2cW9ZQa/HC9udeyQotP4NsMJWgpBV7tC0CgYEAwvNf Of+/jUjtOHoyxCh4SIAqk4UOo4+hBCQbWcXv5qCz4mRyTaWzfEG8/AR3Md2rhmZi GnJ5fdfe7uY+JsQfX2Q5JjwTadlBW4ledOSa/uKRaO4UzVgnYp2aJKxtuWffvVbU +kf728ZJRA6azSLvGmA8hu/GL6bgfU3fkSkwO3ECgYBpYK7TT7JvvnAErMtJf2yS ICRKbQaB3gPSe/lCgzy1nhtaF0UbNxGeuowLAZR0wrz7X3TZqHEDcYoJ7mK346of QhGLITyoehkbYkAUtq038Y04EKh6S/IzMzB0frXiPKg9s8UKQzkU+GSE7ootli+a R8Xzu835EwxI6BwNN1abpQKBgQC8TialClq1FteXQyGcNdcReLMncUhKIKcP/+xn R3kVlO6MZCfAdqirAjiQWaPkh9Bxbp2eHCrb8lMFAWLRQSlok79b/jVmTZMC3upd EJ/iSWjZKPbw7hCFAeRtPhxyNTJ5idEIu9U8EQid81l1giPgn0p3sE0HpDI89qZX aaiMEQKBgQDK2bsnZE9y0ZWhGTeu94vziKmFrSkJMGH8pLaTiliw1iRhRYWJysZ9 BOIDxnrmwiPa9bCtEpK80zq28dq7qxpCs9CavQRcv0Bh5Hx0yy23m9hFRzfDeQ7z NTKhl93HHF1joNM8lLHFyGRfEWWrroW5gfBudR6USRnR/6iQ11xZXw== --END RSA PRIVATE KEY----

2証明書の作成

2.1 証明書の作成

HTTPS リスナーを設定するには、SSL Certificate Service の証明書を直接使用するか、SLB に必要なサードパーティサーバー証明書と CA 証明書をアップロードします。 これにより、バックエンドサーバーで証明書を設定する必要がなくなります。

SLBは、以下の2つのリソースからの証明書に対応しています。

・ Alibaba Cloud SSL Certificate Service により発行またはホストされる証明書: Alibaba Cloud SSL Certificate Service の証明書を選択することができます。 証明書が期限切れに近づくと通知が来ます。証明書の更新は簡単にできます。

現在、クライアント CA 証明書には対応していません。

・サードパーティ証明書: サードパーティ証明書をアップロードするには、証明書の公開鍵/秘密 鍵が必要です。

HTTPS サーバー証明書とクライアント CA 証明書に対応しています。

証明書を作成する前に、以下の点に注意してください。

- ・ 複数のリージョンで証明書を使用するには、証明書の作成時に複数のリージョンを選択する必要があります。
- · 1 アカウントで最大 100 の証明書を作成できます。

SSL Certificate Service からの証明書の選択

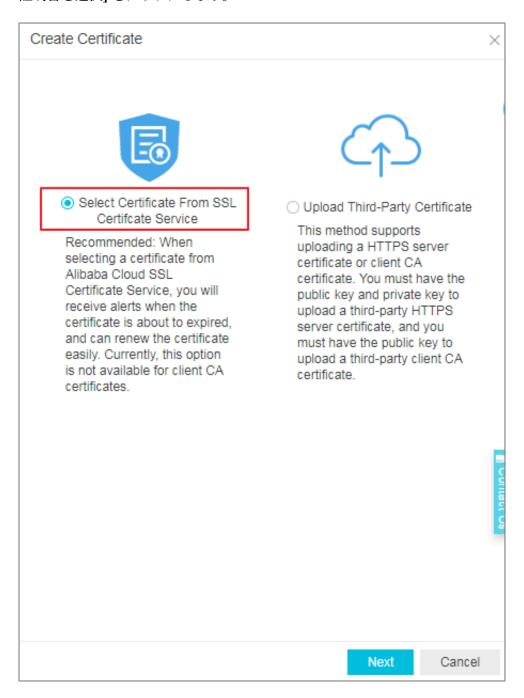
Alibaba Cloud SSL Certificate Service は、Web サイトの HTTPS 化のために、さまざまな 種類のデジタル証明書を発行します。これにより、Web サイトが信頼できるものになり、乗っ 取り、改ざん、傍受を防止することができます。 また、証明書のライフサイクルが一律に管理され、証明書のデプロイが簡略化されます。 詳細は、「SSL Certificate Service」をご参照ください。

SSL Certificate Service で証明書を使用するには、SSL Certificate コンソールにログインして証明書を購入するか、サードパーティ証明書を SSL Certificate Service にアップロードする必要があります。

SSL Certificate Service から証明書を選択するには、以下の手順を実行します。

- 1. SLB コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[証明書] をクリックします。

3. [証明書の作成] をクリックします。 証明書の作成ページで、[SSL Certificate Service から 証明書を選択] をクリックします。



4. [次へ] をクリックします。 **SSL Certificate Service** から証明書を選択ページで、証明書をデ プロイするリージョンを選択し、証明書リストから使用する **SSL** 証明書を選択します。

1 つの証明書を複数のリージョンにまたがって使用することはできません。 複数のリージョン で証明書を使用する場合は、それらのリージョンをすべて選択する必要があります。

5. [OK] をクリックします。

サードパーティ証明書のアップロード

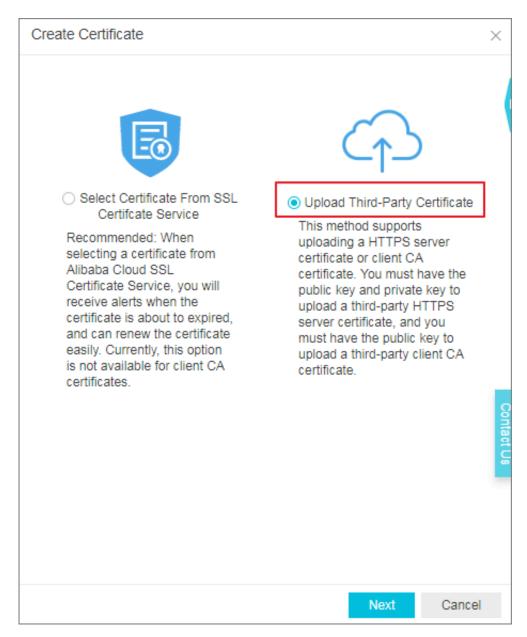
サードパーティ証明書をアップロードする前に、次の条件が満たされていることを確認してください。

- ・ サーバー証明書を購入していること。
- ・ CA 証明書とクライアント証明書を生成していること。 詳細は、「CA証明書の生成」をご参照ください。

サードパーティ証明書をアップロードするには、次の手順を実行します。

- 1. SLB コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[証明書] をクリックします。
- 3. [証明書の作成] をクリックします。

4. 証明書の作成ページで、[サードパーティ証明書のアップロード] をクリックします。



5. [次へ] をクリックします。 サードパーティ証明書のアップロードページで、証明書の内容をアップロードします。

設定項目	説明
証明書名	証明書名を入力します。
	名前は、1~80 文字です。英数字、および以下の特殊文字を使用できます。
	_/

設定項目	説明
リージョン	証明書をアップロードするリージョンを 1 つ以上選択します。
	1 つの証明書を複数のリージョンにまたがって使用することはできません。 複数のリージョンで証明書を使用する場合は、それらのリージョンをすべて選択する必要があります。
証明書のタイプ	アップロードする証明書のタイプを選択します。
	 ・ [サーバー証明書]: HTTPS 片方向認証の場合、サーバー証明書と 秘密鍵のみが必須です。 ・ [CA 証明書]: HTTPS 双方向認証の場合、サーバー証明書とCA 証明書の両方が必要です。
証明書の内容	証明書の内容をエディターに貼り付けます。
	[サンプル証明書を見る] をクリックして、正しい証明書形式を確認 します。 詳細は、「証明書の要件」をご参照ください。
秘密鍵	サーバー証明書の秘密鍵をエディターに貼り付けます。
	[サンプル証明書を見る] をクリックして、正しい証明書形式を確認 します。 詳細は、「証明書の要件」をご参照ください。
	・秘密鍵は、サーバー証明書をアップロードする場合にのみ必要です。

6. [OK] をクリックします。

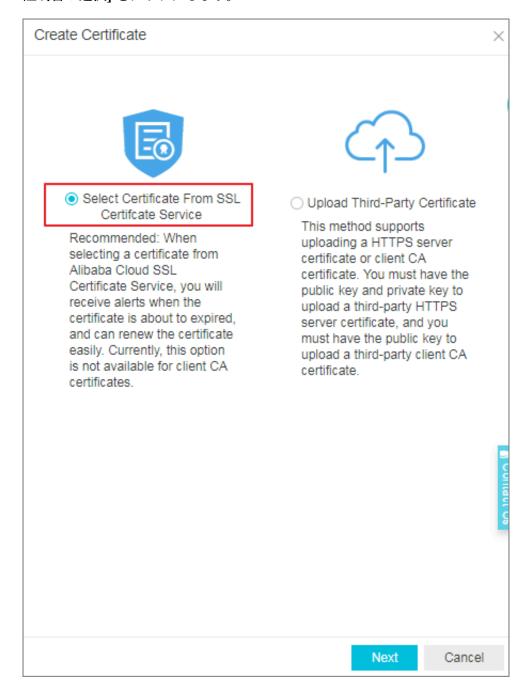
2.2 SSL Certificates Service からの証明書の選択

このトピックでは、SSL Certificates Service から証明書を選択する方法について説明します。 SSL Certificates Service は、さまざまな機関のデジタル証明書を発行して信頼できる HTTPS サービスを提供し、ハイジャック、改ざん、傍受などから Web サイトを保護します。 SSL Certificates Service を使用すると、証明書のライフサイクルを一元管理して、証明書のデプロイを簡素化できます。

SSL Certificates Service で証明書を使用するには、SSL Certificates Service コンソールにログインし、証明書を購入するか、サードパーティの証明書を SSL Certificates Service にアップロードする必要があります。

SSL Certificates Service の詳細については、SSL Certificates Service をご参照ください。

- 1. SLB コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[証明書] をクリックします。
- **3.** [証明書の作成] をクリックします。 [証明書の作成] ページで、[**SSL Certifcate Service** から 証明書の選択] をクリックします。



- 4. [次へ] をクリックします。 [SSL Certifcate Service から証明書の選択] ページで、証明書を デプロイするリージョンを選択します。 証明書リストから、使用する SSL 証明書を選択しま す。
 - 1 つの証明書を複数のリージョンにまたがって使用することはできません。 複数のリージョン で証明書を使用する場合、必要なリージョンをすべて選択する必要があります。
- **5.** [OK] をクリックします。

関連情報

#unique_6

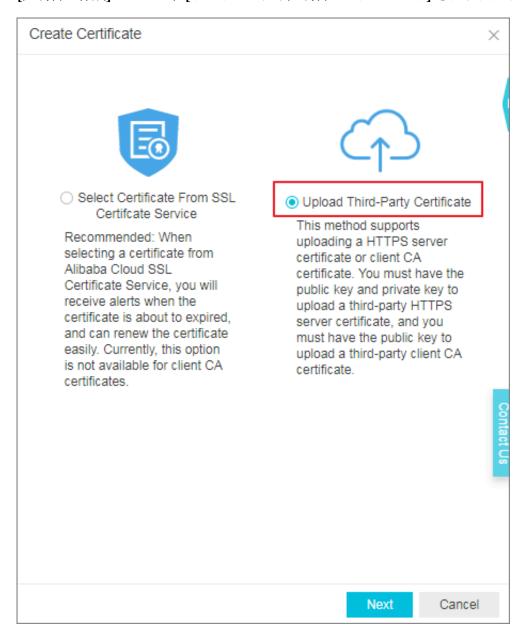
2.3 サードパーティ証明書のアップロード

サードパーティの証明書をアップロードする前に、証明書の公開鍵ファイルと秘密鍵ファイルを 取得しておく必要があります。

サードパーティ証明書をアップロードする前に、次の条件が満たされていることを確認してください。

- ・サーバー証明書を購入済みであること。
- ・ CA 証明書とクライアント証明書が生成されていること。 詳細については、「#unique_8」を ご参照ください.
- 1. SLB コンソールにログインします。
- 2. 左側のメニューで [証明書] をクリックします。
- 3. [証明書の作成] をクリックします。

4. [証明書の作成] ページで、[サードパーティ証明書のアップロード] をクリックします。



5. [次へ] をクリックします。 [サードパーティ証明書のアップロード] ページで、証明書をアップロードします。

設定項目	説明
証明書名	アップロードする証明書の名前を入力します。
	名前の長さは1から80文字です。英数字、および以下の特殊文字を使用できます。
	_/

設定項目	説明
リージョン	アップロードする証明書を使用する 1 つ以上のリージョンを選択します。
	1 つの証明書を複数のリージョンにまたがって使用することはできません。 複数のリージョンで証明書を使用する必要がある場合は、必要なすべてのリージョンを選択します。
証明書のタイプ	アップロードする証明書のタイプを選択します。 ・ [サーバー証明書]: HTTPS 片方向認証の場合、サーバー証明書と 秘密鍵のみが必須です。 ・ [CA 証明書]: HTTPS 双方向認証の場合、サーバー証明書とCA 証明書の両方が必要です。
証明書の内容	証明書の内容をエディターに貼り付けます。 [サンプル証明書を見る] をクリックして、正しい証明書の形式を確認します。 詳細については、「証明書の要件」をご参照ください。

設定項目	説明
秘密鍵	説明 サーバー証明書の秘密鍵をエディターに貼り付けます。 [サンブル証明書を見る]をクリックして、正しい証明書の形式を確認します。詳細については、「証明書の要件」をご参照ください。 SLB がサポートする秘密鍵の形式は、次の2種類です。BEGIN RSA PRIVATE KEY 秘密鍵の内容(BASE64 エンコーディング)END RSA PRIVATE KEY 表を鍵の内容(BASE64 エンコーディング)BEGIN EC PARAMETERSBEGIN EC PRIVATE KEY 秘密鍵の内容(BASE64 エンコーディング)
	- ドイツ (フランクフルト)- UAE (ドバイ)

6. [OK] をクリックします。

#unique_9

#unique_6

3証明書のアップロード

HTTPS リスナーを作成する前に、必要なサーバー証明書とCA証明書をSLBにアップロードする必要があります。 証明書をSLBにアップロードすれば、バックエンドサーバーに証明書を設定する必要はなくなります。

- ・サーバー証明書を購入済みです。
- ・ **CA** 証明書とクライアント証明書を生成済みです。 詳細は次を参照ください*CA*証明書の生成。 証明書をアップロードする前に、次の事項を注意してください:
- 1つの証明書を複数のリージョンで使用する場合は、すべてのリージョンに証明書をアップロードする必要があります。
- ・1つのアカウントにつき、最大100の証明書をアップロードできます。
- 1. *SLB*コンソールにログインします。
- 2. 左側のメニューで、証明書をクリックします。
- 3. 証明書の作成をクリックします。
- 4. 証明書の作成ページで、証明書の内容をアップロードし、OKをクリックします。

構成	説明
証明書名	証明書の名前を入力します。 名前は、1~80 文字です。英字、数字、および以下の特殊文字を使用できます。 _/
リージョン	証明書がアップロードされるリージョンを1つ、或いは複数選択します。 証明書はクロスリージョンで使用することはできません。 複数の リージョンで証明書を使用する場合は、該当するすべてのリージョンを選択します。

構成	説明
証明書のタイプ	証明書のタイプを選択します。 ・ サーバー証明書: HTTPS片方向認証の場合、サーバー証明書と秘密鍵のみが必須となります。 ・ CA証明書: HTTPS双方向認証の場合、サーバー証明書とCA証明書の両方が必須となります。
証明書内容	証明書内容をエディターに貼り付けます。 有効な証明書の形式を表示するには、サンプルをインポートをクリックします。 PEM 形式の証明書のみに対応しています。 詳細は次を参照ください証明書の要件。
秘密鍵	サーバー証明書の秘密鍵をエディターに貼り付けます。 有効な形式を表示するには、サンプルをインポートをクリックします。詳細は次を参照ください証明書の要件。

期限切れの証明書を一括削除するには、期限切れ証明書を全削除をクリックします。

4 CA証明書の生成

HTTPS リスナーを設定する際、自己署名 CA 証明書を使用できます。 このドキュメントの手順に従って、CA証明書を生成し、作成されたCA証明書を使用してクライアント証明書に署名します。

Open SSL を使用してCA 証明書を生成する

1. 次のコマンドを実行して、/rootディレクトリにcaフォルダーを作成し、caフォルダーに 4 つのサブフォルダーを作成します。

```
$ sudo mkdir ca
$ cd ca
$ sudo mkdir newcerts private conf server
```

- ・ newcertsフォルダーには、CA 証明書によって署名されたデジタル証明書が保存されます。
- ・ privateフォルダーには、CA 証明書の秘密鍵が保存されます。
- ・ confフォルダーには、設定ファイルが保存されます。
- ・serverフォルダーには、サーバー証明書が保存されます。
- 2. confディレクトリにopenssl.confファイルを作成し、次の情報を入力します。

```
[ ca ]
default_ca = foo
[ foo ]
dir = /root/ca
database = /root/ca/index.txt
new_certs_dir = /root/ca/newcerts
certificate = /root/ca/private/ca.crt
serial = /root/ca/serial
private_key = /root/ca/private/ca.key
RANDFILE = /root/ca/private/.rand
default_days = 365
default_crl_days= 30
default_md = md5
Unique_subject = No
Policy = policy_any
[ policy_any ]
countryName = match
stateOrProvinceName = match
organizationName = match
organizationalUnitName = match
localityName = optional
commonName = supplied
emailAddress = optional
```

3. 次のコマンドを実行して、秘密鍵を生成します。

```
$ cd /root/ca
```

\$ sudo openssl genrsa -out private/ca.key

秘密鍵を生成する例を以下に示します。

```
root@iZbp1hfvivcqx1jbwap31iZ:~/ca/conf# cd /root/ca
root@iZbp1hfvivcqx1jbwap31iZ:~/ca# sudo openssl genrsa -out private/ca.key
Generating RSA private key, 2048 bit long modulus
.....+++
..+++
e is 65537 (0x10001)
```

4. 次のコマンドを実行し、プロンプトに従って必要な情報を入力します。 **Enter** キーを押す と、*csr*ファイルが生成されます。

\$ sudo openssl req -new -key private/ca.key -out private/ca.csr



注:

Common Nameは、**SLB** インスタンスのドメイン名です。

```
root@iZbp1hfvivcqx1jbwap31iZ:~/ca# sudo openss1 req -new -key private/ca.key -ou
t private/ca.csr
You are about to be asked to enter information that will be incorporated
into your certificate request.
What you are about to enter is what is called a Distinquished Name or a DN.
There are quite a few fields but you can leave some blank
For some fields there will be a default value,
If you enter '.', the field will be left blank.
Country Name (2 letter code) [AU]:CN
State or Province Name (full name) [Some-State]: ZheJiang
Locality Name (eg, city) []:HangZhou
Organization Name (eg, company) [Internet Widgits Pty Ltd] (Alibaba
Organizational Unit Name (eg, section) []:Test
Common Name (e.g. server FQDN or YOUR name) [] mydomain
Email Address [] (a@alibaba.com)
Please enter the following 'extra' attributes
to be sent with your certificate request
A challenge password []:
An optional company name []:
root@iZbp1hfvivcqx1jbwap31iZ:~/ca#
```

5. 次のコマンドを実行して、crtファイルを生成します。

\$ sudo openssl x509 -req -days 365 -in private/ca.csr -signkey
private/ca.key -out private/ca.crt

- **6.** 次のコマンドを実行して、秘密鍵の開始シーケンス番号を設定します。シーケンス番号には、 任意の4文字を使用できます。
 - \$ sudo echo FACE > serial
- 7. 次のコマンドを実行して、CAキーライブラリを作成します。
 - \$ sudo touch index.txt
- **8.** 次のコマンドを実行して、クライアント証明書を削除するための証明書失効リストを作成します。

\$ sudo openssl ca -gencrl -out /root/ca/private/ca.crl -crldays 7 config "/root/ca/conf/openssl.conf"

次のレスポンスが返されます。

Using configuration from /root/ca/conf/openssl.conf

クライアント証明書に署名する

- 1. 次のコマンドを実行して、caディレクトリの下に、クライアントキーを保存するusersディレクトリを生成します。
 - \$ sudo mkdir users
- 2. 次のコマンドを実行して、クライアント証明書のキーを作成します。
 - \$ sudo openssl genrsa -des3 -out /root/ca/users/client.key 1024



注:

キーを作成する際、パスフレーズを入力します。 パスフレーズは、不正なアクセスから秘密 鍵を保護するためのパスワードです。 入力されたパスフレーズは、このキーのパスワードに なります。

3. 次のコマンドを実行して、証明書署名要求のためのcsrファイルを作成します。

\$ sudo openssl req -new -key /root/ca/users/client.key -out /root/ca
/users/client.csr

プロンプトが表示されたら、前の手順で設定したパスフレーズを入力します。



注·

チャレンジパスワードは、クライアント証明書のパスワードです。 クライアントキーのパス ワードではありません。

4. 次のコマンドを実行して、クライアントキーに署名します。

\$ sudo openssl ca -in /root/ca/users/client.csr -cert /root/ca/
private/ca.crt -keyfile /root/ca/private/ca.key -out /root/ca/users/
client.crt -config "/root/ca/conf/openssl.conf"

プロンプトが表示されたら、どちらのプロンプトにもyと入力します。

```
root@iZbp1hfvivcqx1jbwap31iZ:~/ca# sudo openssl ca -in /root/ca/users/client.csr
-cert /root/ca/private/ca.crt -keyfile /root/ca/private/ca.key -out /root/ca/us
ers/client.crt -config "/root/ca/conf/openssl.conf"
Using configuration from /root/ca/conf/openssl.conf
Check that the request matches the signature
Signature ok
The Subject's Distinguished Name is as follows
                     :PRINTABLE: 'CN'
countryName
stateOrProvinceName :ASN.1 12:'ZheJiang'
localityName
                    :ASN.1 12: 'HangZhou'
organizationName
                     :ASN.1 12:'Alibaba'
organizationalUnitName:ASN.1 12:'Test'
commonName
                     :ASN.1 12: 'mydomain'
emailAddress
                     :IA5STRING: 'a@alibaba.com'
Certificate is to be certified until Jun 4 15:28:55 2018 GMT (365 days)
Sign the certificate? [y/n]:y
1 out of 1 certificate requests certified, commit? [y/n]y
Write out database with 1 new entries
Data Base Updated
root@iZbp1hfvivcqx1jbwap31iZ:~/ca#
```

5. 次のコマンドを実行して、証明書をPKCS12ファイルに変換します。

\$ sudo openssl pkcs12 -export -clcerts -in /root/ca/users/client.crt
-inkey /root/ca/users/client.key -out /root/ca/users/client.p12

プロンプトが表示されたら、クライアントキーのパスワードを入力します。 そしてクライアント証明書のエクスポートに使用するパスワードを入力します。 これはクライアント証明書を保護するためのパスワードで、クライアント証明書をインストールするときに必要です。

6. 生成されたクライアント証明書を表示するには、次のコマンドを実行します。

```
cd users
ls
```

5証明書形式の変換

Server Load Balancer は、PEM 証明書のみに対応します。 他の形式の証明書は、PEM 形式に変換してから、Server Load Balancer にアップロードする必要があります。 形式の変換には、Open SSL を使用することを推奨します。

DER を PEM に変換

DER: 一般的に、この形式は **Java** プラットフォームで使用されます。 この証明書の拡張子は一般的に .der 、.cer または .crt です。

・次のコマンドを実行して、証明書の形式を変換します。

openssl x509 -inform der -in certificate.cer -out certificate.pem

・ 次のコマンドを実行して、秘密鍵を変換します。

openssl rsa -inform DER -outform PEM -in privatekey.der -out privatekey.pem

P7B を PEM **に変換**

P7B: 一般的に、この形式は Windows Server および Tomcat で使用されます。

次のコマンドを実行して、証明書の形式を変換します。

openssl pkcs7 -print_certs -in incertificate.p7b -out outcertificate.cer

PFX を PEM に変換

PFX: 一般的に、この形式は Windows Server で使用されます。

・ 次のコマンドを実行して、証明書を取り出します。

openssl pkcs12 -in certname.pfx -nokeys -out cert.pem

・ 次のコマンドを実行して、秘密鍵を取り出します。

openssl pkcs12 -in certname.pfx -nocerts -out key.pem -nodes

6証明書の交換

証明書期限切れによりサービスに与える影響を避けるには、証明書が期限切れになる前に証明書を交換してください。

- 1. 新しい証明書を作成し、アップロードします。 詳細は、証明書のアップロードと*CA*証明書の生成を参照してください。
- 2. HTTPSリスナー構成で新しい証明書を構成します。
- 3. 証明書ページで、対象証明書を検索し、削除をクリックします。
- 4. 表示されるダイアログボックスで、OKをクリックします